

発電所の建設

王子製紙の苫小牧進出に伴い発電所を建設
資材の運搬のために軌道を敷設 後に製紙
原料の木材輸送などに活躍



最初は馬車鉄道

第一発電所に送水するための堰堤



第一～第五発電所の出力
合計36,600KW
第一発電所が7割



1910(明治43)年第一発電所の
完成により工場の操業開始
以降、1941(昭和16)年に第五
発電所完成